

令和7年度倉吉市あらゆる差別をなくする審議会議事録

- 1 日 時 令和7年7月29日(火) 午後1時30分から午後2時32分まで
- 2 場 所 倉吉市役所第2庁舎2階201会議室(倉吉市堺町2丁目)
- 3 出席者 委員14名(全委員16名)、事務局(市民生活部長、人権政策課)4名
- 4 協議事項概要

■：議長発言、○：委員発言

(1) 会長副会長の選任について

- ・会 長 河崎 紀子 委員 選出
- ・副会長 渡邊 太 委員 選出

(2) 第6次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画の進捗状況について

■進捗状況について事務局に説明を求める。

(事務局説明) 資料3に基づき説明。

■説明のあったことについて意見を求める。

○学校で使用している人権学習共通教材について教えてほしい。

(事務局)

- ・以前から有った教材をまとめたもの。
- ・各学校の教材を持ち寄り、内容を精査し、市内学校で共通して学習するテーマを明確にし、指導方法についても研究していくもの。

○例えばどんな教材があるのか

(事務局)

- ・西光万吉、水平社宣言、解放令、教科書無償化運動などがある中、洗染め一揆は重点事項として取り組もうというもの。

○不登校の出現率について。学校も頑張っているが、家庭的な問題があるか？進路も心配。

○家庭環境は大きい。押し出しの弱い家庭がある。サポートルームも学校にある。学校では家庭だけで問題を抱えないように支援している。

○中学校では、支援会議、高校の体験入学など進路について考える時間を持っている。

○高校進学率についての解釈について。参加者の減少についてニーズがないのか。

(事務局)

- ・現高校進学率に地区内、地区外の差は無い。
- ・学習会では、教科学習と人権学習をしている。
- ・子どもたちも忙しい。子どもの数も減少。学ばせたいという親も減ってきている。

○地域の子供が減っている。誘いあって大勢で参加していたができなくなった。

親が自分の切ない思いを子にさせたくないと言っているケースがある。

少人数でも地区外の子も参加して学力アップを目指している。

(事務局)

- ・学習会は運営協議会が運営している。

- ・地域、保護者、学校で一緒になって取り組んでいる。

○市集会について。テーマを考えるのが大変と聞いた。市集会の体制を変えていかないといけないのでは。参加したいと思えるような。

(事務局)

- ・参加者は減少傾向にある。参加しやすいものになるよう映像上映や講演会など気軽に参加しやすい企画とした。
- ・運営は実行委員会形式でやっており、継続の予定。
- ・テーマはアンケートの集約結果を基本としている。

○市職員の町内学習会の参加率は本当か？地域に職員が出向き、地域の話聞くことが大切。市民の声を聞くこと。学校の先生もたくさん参加してほしい。

(事務局)

- ・参加率は補講を含めた数。
- ・学習会情報を職員内で共有し、地域に参加する職員を増やしたい。

5 その他

第7次倉吉市あらゆる差別をなくする総合計画（基本計画）策定方針とスケジュールについて

■事務局に説明を求める。

(事務局) 資料4により策定方針とスケジュールを説明。

■説明のあったことについて意見を求める。

○令和7年6月に閣議決定された国の人権教育・啓発に関する基本計画（第2次）の内容を参考にされたい。今の社会を踏まえて書かれている。状況は変化している。国の動きとして幅広く注視していただき策定を。

策定方針スケジュールについて委員の拍手をもって承認となる。